

である。(三)の如きは地方的事情があつて一律には言へないが、当該組合が自主的  
方針で計画すればよい、また(三)と関係して医療機関の設置をまかす、自主的  
自治体や政府にも要求すべきだといふ意見が出た。その結果(二)と(四)を取り上げ記す如く  
尚、左記項目も当該組合の自主的運動として実現に努力することを希望条件として記す。

- 一、水上生活者医療機関の設置、
- 一、製糸松場所に陸上連絡の完全なる通線設置
- 二、失業対策委員会設置
- 三、河合政權
- 四、労働者農民生活権保障失業対策斗争に関する件
- 五、神戸県社会提出會提案説明書

右の二案を一括審議の結果、主文は「失業対策斗争に関する件」の原案主文を尤く修正  
して決定す。

主文 一、(口)として職業紹介機関の拡充並に労働組合管理を新たに加へる。従つて(イ)を  
防止立法の制定は(ロ)となり以下順次繰下げとなる。

二、政府及び資本家全額負担の失業保険法、制定は「国家強制失業保険法の制定」の  
また実行方法は尤の如く修正可決す。

実行方法 一、社会大衆党並に日本労働組合会及び各々の団体と協力して行ふ。  
二、其他具体的運動は中央委員会に一任。

(ロ)

至週

提案者より要求項目に対する逐条説明及び東京地方自由労働者組合の斗争の至週を説明  
曾向、成着、討論に入る。

失業事情 土本も業、現在市町村の事情、逐条録制及、二種を制定の要請及び  
して、現任の失業事情の欠陥を明らかにした。次いで今日の労働組合の失業対策斗争の重要を  
所に置くかといふことに就いて討論に入り、「職業紹介機関を拡充し、これを労働組合に  
管理する方針を以て進むこと、失業保険法の獲得に向けて進歩する必要があること、  
政府及び資本家全額負担の失業保険法は「国家強制失業保険法」として、  
具体的内容をもつたものとして、実現のためには、労働組合及び労働者から、  
4、労働組合に属する件 提案説明者 右島統一労働組合 田澤勝二

今市社会大衆党が轉換期政策の如き該解を招き易き重要問題を取扱ふ際  
は予め党の府縣聯合会及び支部分農団体の充分の協力を得ること

二の案を政府 部より党に反映されし  
右の希望を条件を採擇して原案を撤回す。

提案者より 社会大衆党の「轉換期建設政策」はア、目的も、  
から撤回する程にしてもらいたいとの説明があり、これに對して、本部  
政治部より同案立案から特別委員会に附され、今日では同案は  
政められ「改定案」の如く改定する。